

令和5年8月29日

1年A組、D組保護者 様

瀬戸内市立牛窓中学校

校長 光信 謙吾

令和5年度学力・学習状況調査について

残暑の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育のため格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、1学期に実施しました岡山県学力・学習状況調査（国語、数学、英語）及び瀬戸内市学力調査（社会、理科）につきまして、次の点にご留意ください。

- 1 学力・学習状況調査は、あくまで前年度までの学習内容を4月の時点で調査したものであること
- 2 様々な学力の一側面であること
- 3 通知票の評価・評定には無関係であること
- 4 この分析結果に基づいて今後の学習指導を進めて参りますが、ご家庭でもご協力をお願いしたいということ

次に、各教科の概要及び今後の取組を簡単にお知らせします。

【学力調査】

国 語	漢字の読み書きや文法は良好でした。国語で正確に理解し、根拠を明確にして意見表明する力の育成に努めて参ります。
数 学	総じて良好な結果でしたが、線分図や帯グラフなどを使って割合を掴むことに、やや課題がありました。学び直しながら、中学校の学習を進めて参ります。
英 語	小学校の「聞くこと、話すこと」に、中学校では「読むこと、書くこと」が加わります。ALT（外国人）を含む3人の教師で、丁寧に指導して参ります。
社 会	歴史は良好な結果でした。政治や現代的な諸課題については、時事問題に関心を持たせ、社会との関わりの中で学んで参ります。
理 科	体のつくりや月・太陽の領域を除けば、概ね良好でした。予想や仮説の根拠を科学的な言葉を用いて説明する学習活動を、意図的に設定して参ります。

【質問紙】

調査には、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」で回答しています。（4件法）

「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、県よりかなり多い値でした。一方で、「将来の夢や目標を持っている」に「当てはまる」と答えた生徒は、県より20%以上少ない値でした。この点に関して、本校では3学年を貫くPBL（課題解決型学習）において、地域社会とのつながりの中で挑戦する場や機会を意図的・計画的に設定し、生徒が自らやってみたいと思える「夢」や「なりたい自分」を見つけられることを目指しています。

また、「授業で、PC・タブレットなどのICT（情報通信技術）機器を、どの程度使用しましたか（ほぼ毎日）」は、県より20%以上少ない値でした。中学校では、ICTを視覚支援や個別最適な学習の手段として積極的に活用して参ります。

